

経営戦略研究

店舗経営 生き残りの条件～その8～

～前号より続く～

無難でしょう。

さらに、「明確な戦略無き店舗運営の敗北」というのを別の角度から説明すれば、「今までは、特に明確な戦略が無くてもやって行けた」つまりは「何も考えていなくてもホールが儲かっていけた」時期がこれまで長く続いてきたわけですが、今後は「しっかりした考え」を持っていかなくてはホール経営は成り立って行かないとも言えます。

例えば、釘調整のできる人材の極端に不足している問題。私も店長さんとお話しする機会が少なくないですが、釘調整の経験が全く無い人が店長さんだったり、こんな人が釘を叩いていて大丈夫かなというほどに機械の事やファンの気持ちを理解していない人が中にはいらっしゃる。これは経営側にとっても店長さん本人にとっても大きな問題で、今まで以上に努力される事を希望します。

さて、現在はパチンコ業界独特のパラダイムの2番目の要素としての「機械(遊技機)」の性能等に関連したお話しをしているわけですが、パチンコ機の話はこれぐらいにして、次はパロットのお話しをしたいと思います。下表をご覧ください。

パロットは、その第1号機である「CRP花月伝説R」の導入を直前に控えた状況に現在あるわけで、皆さんの中にも非常に期待感を持っている方が多いでしょうが、私もどうも、この機種が「パロット自体の先行きを悪くしてしまうんじゃないか」という気がしてしょうがないわけです。

その理由は後でお話しするとして、資料に示したこの機種のスペックを見てみてください。

パロットはパチンコ玉を使う遊技機ですが、要はパチスロ機的一种でありますから、この機種のスペックがいわばパチスロの将来像。いわゆるパチスロ5.0号機のスペックをイメージするのにも役立つと言えます。

この機種のスペックからパチスロ5号機を探るうえで重視しなければならないのは、出玉性能が基本的に昔の現金時短機に近いという点と、出玉率が設定1で97.4%、設定2に至っては100.2%と100%を超えている点。要は、ガラガラとした出玉の増減を繰り返す出玉性能で、しかも出率はかなり高く設計せざるを得ない。設定1の出玉率が97.4%...、これで等価交換営業が果たしてできるんでしょうか。

ともかく、詳しい話は省略させていただきますが、パロットを含めた当面のパチスロ5号機は、コイン単価が2円前後と低い上に出玉感にかけ、いわばどうしようも無い機種であると見ておくのが

話しが後述するパチスロ機にまで及んでしまいましたが、とにかく、今お話ししたような性能がパロットの発売第1号機である「CRP花月伝説R」という機械なのであります。

ところで、私は先ほど、「パロット自体の先行きを悪くしてしまうんじゃないか」というお話しをしましたが、少なくとも導入を直前に控えたこの「CRP花月伝説R」は、機械代金を回収できるぐらいには使えると期待しています。

新しいカテゴリーの機械でパチスロなんですから、当然ながらそれぐらいは使えるに決っていますよね。少なくとも新し物好きのファン層が機械代を回収できる程度には絶対に遊んでくれます。

だから一応、「花月伝説」は買っておいたほうがいいんだらうという事になるんだけど、だからといって「パチンコファンを含めた幅広い層のお客様が遊んでくれる」とか「2カ月ぐらいは使えるだらう」とかいう考えは持たない方が賢明だと思うわけです。

その意味では、「話題性という点では新機種効果が期待できるけれども、1～2カ月で外さなければならぬ機種であると割り切って使う」しかない。

その理由はいくつかありますが、まず一つ目は、「パチンコファンはベットボタンや3つのストップボタンを押す事そのものが面倒くさい」だから、パチンコファンはこの機種で遊ばない。「遊ばない」という言い方は凄く極論なんだけど、殆んど遊ばないと思って間違いない。

それではパチスロファンはどうかというと、先ほどお話ししたように、この機種の出玉感やパチンコ機の現金時短機に毛の生えたような程度ですから、同じ遊ぶなら今の4.7号機の方がよほどマシに決まっているんです。この意味では、パチスロファンにとっても「どうしても遊びたくな

パラダイム ...機械のパラダイムシフト

CRP花月伝説R (パロット)				
三共				
配当	赤7/猪+鹿+蝶...BB、赤7+赤7+蝶...RB、鈴...35個、チェリー...10個、青JAC...リプレイ、(JACゲーム中は青JAC+青JAC+黄JACで75個の払い戻し)			
確率	設定	BB出現確率	RB出現確率	出率
		1/383	1/780	97.4%
		1/350		100.2%
		1/323		103.0%
		1/299		105.7%
		1/279		109.1%
	1/261	111.8%		
特徴	演出用液晶表示機を搭載 2種類のBBを採用し、猪鹿蝶BBで当たれば100GのRTが付く			

玉単価は50銭(コイン換算2.5円)、10万個稼働で台売りは5万円。100ゲームのRTによる出玉増加数は200個弱(コイン換算40枚)、この間にボーナスが発生する割合は約30%。

その出玉性能は、昔の現金時短機に近い

花月伝説の運用状況等で認識すべき事柄

パチンコファンはボタンを押さない、パチスロファンにとっては4.7号機の方がマシ。パロットはパチンコとパチスロの融合機では無い。あくまでパチスロ機である。つまり、新カテゴリー機として抱かれていたパロットに対するホール側の希望は完全に砕かれたといえる。ただし、未だ見ぬパチスロ5号機(ゲーム性重視の)性能把握と市場性の判断には役立つ。後続発売機をめどが立たない状況での納品開始は、パロット自体の将来的なシェア確保と遊技機代金抑制の2点において、重大な悪影響を及ぼすと考えられる。

る機種ではない。

だから「CRP花月伝説R」というのは、物珍しさと導入当初の客寄せとしての高設定を期待して、導入直後はお客さんも遊ぶのだからうけれど、その後は途端に客が居なくなると考えてまず間違いない。

ところで、この「CRP花月伝説R」の発売は、「パロット」というカテゴリーそのものの先行きを探るうえでも重要な意味を持っていると思うので、このあたりもご説明しておくべきかと思います。

結論を言ってしまうと、パロットの先行きは、大変に暗い。パロットというカテゴリーの出現を期に店舗の機種構成を見直すといった事は、くれぐれもすべきじゃないという事です。

その理由の一つ目はまず、今のパロットが「パチンコ玉をわざわざ使う意味がない機械にならざるを得なくなっている」点にあります。

皆さんは、新回胴式遊技機のひとつであるパロットは、パチスロとパチンコの融合だから、例えば「パチンコ玉を弾いて、スタート口に玉が入るとリールが回って、それをストップボタンで止める。7が揃えばビッグボーナスとなってコインの代わりに玉がジャラジャラと払い出されてくる」といった漠然としたイメージを持っているし、パロットにはそういうゲーム性というか遊び方を期待していた部分が多かったと思うんですね。

けれども、パロットが出来上がってきても、そんな遊び方じゃなかった...。「玉がそもそも飛ばない」。玉は単純にコインの代わりでしかなかった。だからこれ、極論してしまえば、新回胴と言っているけれども、「ただのパチスロ機」にすぎないわけなんです。その所をよく理解しておく必要がある。

パロットの先行きが暗い理由の二つ目は、次機種の発売の目処が立っていない点にあります。パロットを開発しているメーカー団体は新遊工(日本遊技機開発工業会)というんですが、この新遊工に加盟するメーカーさんの中で、「CRP花月伝説R」の型式試験適合を受けた三共さん以外に今のところは型式試験を通過する見込みのあるメーカーさんが見当たらない。

要するに「CRP花月伝説R」を外さなければならぬ時に空いたパロットの島を埋める「二の矢、三の矢の新機種が存在しない」ことがほぼ確実なわけです。これでは、パロットを根付かせる事は難しいですね。

仮に新機種が間に合ったにしても、パロットに関する特許の可

りの部分、例えば「玉を15個ずつスムーズにベットさせる仕組み」とか「ストップボタンの動作に関わる仕組み」とか、そういったかなりの部分の特許を三共さんの実質的な子会社が持っていたら...。機械販売時の利益率を左右する部分として、特許使用料の絡みが遊技機の場合には非常に大きいんだというのは皆さんご存知と思うんですが、他のメーカーさんがこの特許使用料を払ったうえで、パロットを開発して販売していけるかとなると、かなり厳しい。

少なくとも、新回胴というカテゴリーが今回の規則改正で認められた要因としては、全日遊連による陳情という部分が大きいわけですが、結果として全日遊連が最も期待していた「低価格の遊技機を供給させる」という目論見には、沿わない形になるんじゃないかと私は思います。これが三つ目の理由。

以上の理由などで「パロットの先行きは非常に暗い」と私は見ているわけですが、この見方がはずれる、つまりは「そうならない」事を祈りたいと思います。

さて、「機械(遊技機)」の性能等に関連したお話しとして、最後にパチスロ機のお話しを致したいと思います。下表をご覧ください。

パチスロ機は、いよいよ、新規則機である5号機の発売が目前に迫ってきています。

6月に「エヴァンゲリオン」という機種が、パロット以外のパチスロ5号機として初めて型式試験を通過した事は、皆さんもすでにご存知かと思います。今日は7月14日ですが、今日現在で2機種目も型式試験の適合を受けていると聞いています。

その他にも、様々なメーカーが型式試験適合の目前に来ている事は、インターネットの掲示板などで盛んに言われている所でありませう。 - - - - 以下、次号に続く

パラダイム ...機械のパラダイムシフト

パチスロ機



目前に迫った5号機の発売



ファン構造の確実な変化

(5号機ファン新規獲得に向けた戦術実行と設置比率の熟考)

4.7号機ファンの維持

(5号機へのシフトは期待しない)

みなし機、検定切れ機の余命把握

(設置寿命の「全う」と4.7号機へのシフトの準備)

低玉単価時代を見据えた利益構造の転換

(知らなかったでは済まないソフトランディングのための数多くの警鐘)

この記事は、2005年7月14日に弊社、三橋が行った「北海道遊技事業協同組合連合会主催、ホール経営戦略セミナー」の内容を元に作成しています。